

## 授業実施評価レポート

2023年度 総合人間社会コース

### 1. 2022年度の状況

#### ①成績評価アンケート

成績評価アンケートの結果は、検討して欲しい科目についてのコメントはなく、概ね良好であったが、アンケート対象である新3～4年生の総合人間社会コースの学生が27名中、回答した学生が8名と少なかったため、教務・共通教育部会から、引き続き適切な評価を行えるよう、コース内で相互に確認していくことが求められた。

アンケートに答えた学生が少なかった点については、今後は正確な結果が導き出せるように、4月に実施される総合人間社会コースのオリエンテーションにてアンケートを回収すること、ゼミ担当者が積極的に指導し、アンケート回収率を上げる必要があると判断された。

#### ②成績分布及び受講者数

(1) 「Webデザイン演習」「問題解決演習」「キャリア論」「組織マネジメント」「ビジネス倫理」は成績SとAの割合が80%を超えており、「組織マネジメント」においては、受講生5名全員が成績Sとなっており、上位成績者が多く、偏りが見られる。コース会議で確認したところ、担当教員からは以下の回答を得た。

「Webデザイン」については、担当教員からは「昨年度を受講生が20名程度と比較的少なく、ほとんどの学生がグループワークや時間外のメール質問等に熱心に取り組んでいたため、成績が良かったと思われる。成績基準に関しては、課題の仕様をクリアしているか（+独自の工夫に対して加点）で採点している。来年度は、課題などの部分点の難易度を少し高くすることで対応する。」との回答を得た。

「問題解決演習」「キャリア論」「組織マネジメント」「ビジネス倫理」については、特に就職活動

に影響する科目であるため、授業内で一定の水準にまでトレーニングを行って評価している。

「組織マネジメント」においては、受講者 5 名全員が成績 S となっている。担当教員からは「この科目は高度に学ぶ内容になっており、自己学習と発表がかなりハードであることから、初回のオリエンテーションでは 10 名近い学生が参加するが、断念する学生が多い。従って、この科目を受講する学生は、民間企業を希望し、企業分析や経営について意欲的に学ぶ姿勢が強いと考えられる。今後も高度な内容を維持したいと考えているが、完全自由選択科目の為、次年度は受講を希望する学生のニーズを反映するよう対応する。」という回答を得た。今後の状況を見極め、再度検討することとする。

「キャリア論」について、担当教員からは「将来教職を目指す学生を対象とした科目であり、ハードな授業やレベルの高い課題を熟さなければならず、意欲のある熱心な学生が受講しているため、成績 S と A が多いクラスとなっている。」との回答であった。学生の学力や状況を見極め、シラバス等も検討し、経年で様子を見ることとする。

「ビジネス倫理」に関しては、成績上位者が多く、偏りが見られたため、現在担当されている非常勤講師の方に前年度までの傾向を伝え、成績基準について確認してもらい、成績評価に偏りが少ないよう依頼することとなった。

「問題解決演習」に関しては、成績 A の割合が多く、成績評価に偏りが見られた。当該科目は、受講生が 8 名であることから、希望する学生が受講できるよう授業内容を再検討する。また、上位成績に偏りが見られたため、対象者を明確にし、受講生の学力や状況を鑑みて成績基準を見直し、シラバス等の検討で対応することとなった。

(2) 「個人情報法制」については、受講生 9 名の内、不可 1 名、無資格 3 名となっており、学生の約 44%が単位の取得ができていない状況であることから、コース会議で確認した。担当教員からは、「評価方法は授業内レポート 30%、期末試験 70%であり、レジュメに基づき講義を行っている。また、無資格 3 名については、履修取り消しを忘れた学生である。」との回答であったことから、経年で様子を見ることとする。

### ③その他

履修要件を満たす学生には、年度末に「学修証明書」の交付を実施した。

## 2. 2022年度レポート対応プランの結果

22年度は、以下の2点について検討し、計画した。

①成績評価については、昨年同様回答数が少なかったことから、まずは総合人間社会コースを選択している学生の回答率を上げるよう、4月実施の総合人間社会コースオリエンテーションでアンケート用紙を配付し、回答してもらうこととする。

②受講者数が少ない科目はコースの専門性に特化した科目であり、総合人間社会コースを選択している学生が少数である。しかし、科目の中にはハードルが高く、成績基準を厳しくしたことで履修を取り消す学生もいるため、次年度は受講を希望する学生のニーズを見極め、対応することとした。

①については、23年度も回答数が少なく、十分な周知がなされていなかった。

②については、受講者数の変化は見られなかったことから、特化した科目の学生数の増減がなかった。

## 3. 対応プラン

①成績評価については、昨年同様回答数が少なかったことから、総合人間社会コースを選択している学生の回答率を上げるよう、まずは4月のオリエンテーションについて学生への周知を徹底し、多くの学生に出席を促すよう連絡をする。

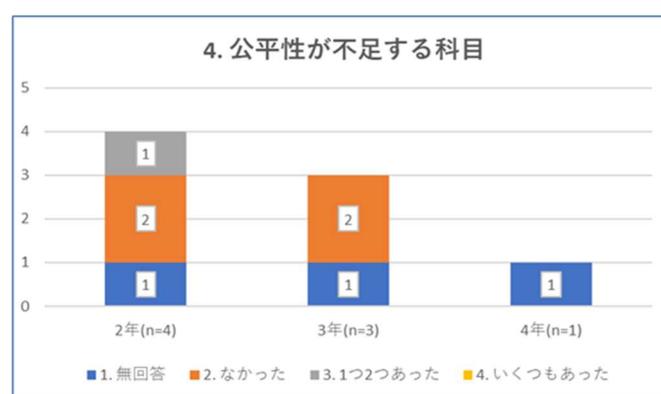
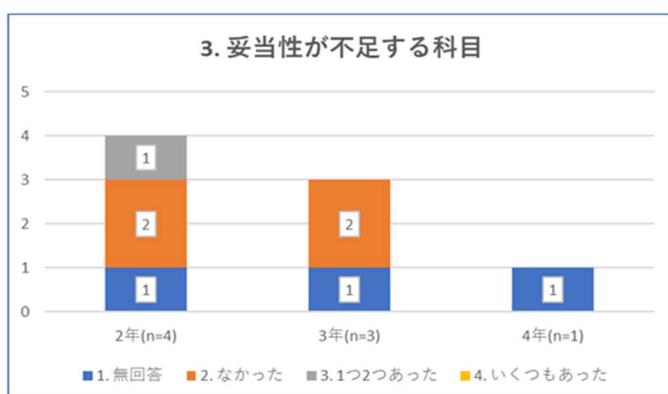
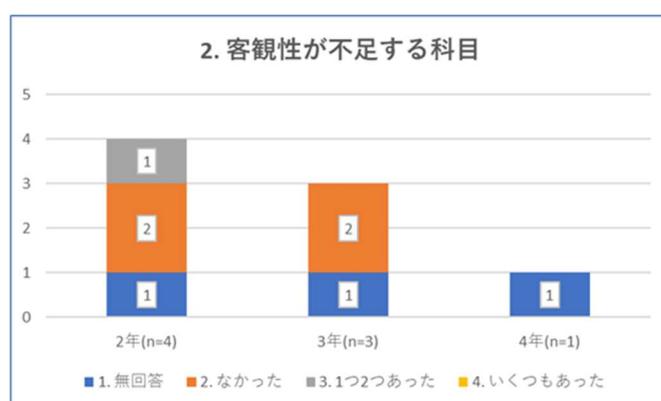
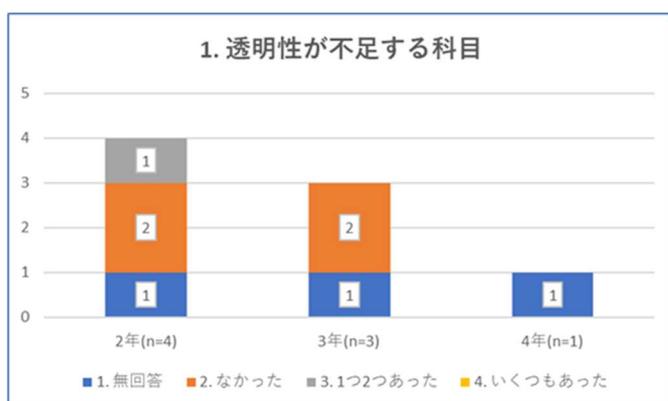
②受講者数が少ない科目はコースの専門性に特化している科目であり、本年度より教職科目に位置づけられた科目であることから、次年度は多くの学生が受講するよう努力する。

## 添付資料

- ・成績評価アンケート結果
- ・科目成績分布および受講者数
- ・カリキュラムマップ及びカリキュラムツリー

### ・成績評価アンケート結果

#### (1) 総合人間社会コース専門科目



#### (2) 結果について

総合人間社会コースでは、該当する学生が4年生1名、3年生3名、2年生4名、計8名でした。8名中「無回答」は3名でした。回答した学生が少ないことから、十分なデータとは言えませんので、今後も引き続き適切な評価を行うことが出来るように指導してください。

図1 総合人間社会コース専門科目の成績評価アンケート結果

・科目成績分布および受講者数

\*集計からはゼミ・卒業論文は除いております。

(1) 総合人間社会コース 専門科目全体の成績分布

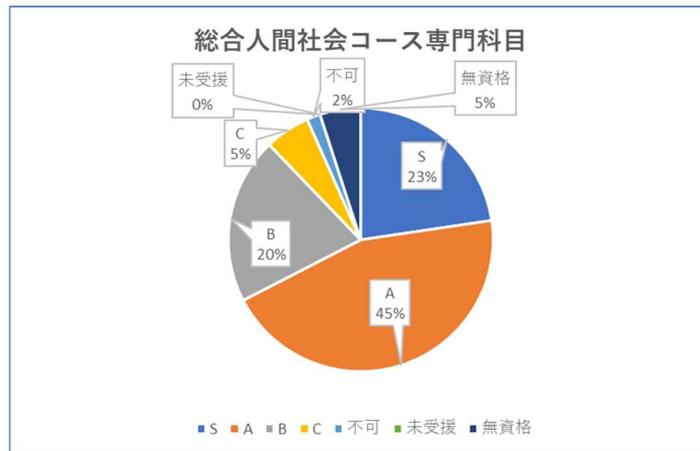


図2 総合人間社会コース 専門科目の成績分布

(2) 各授業の成績分布

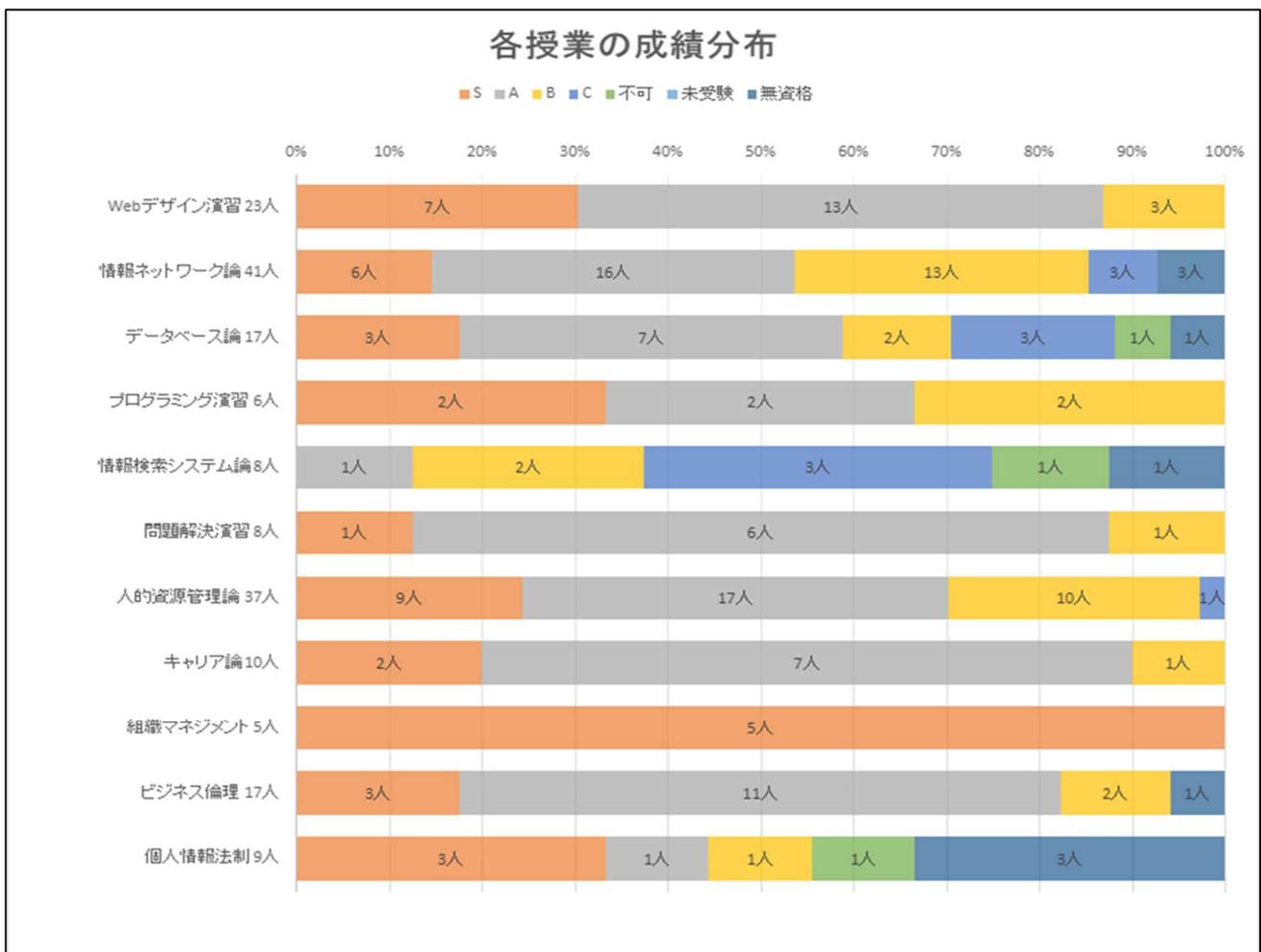
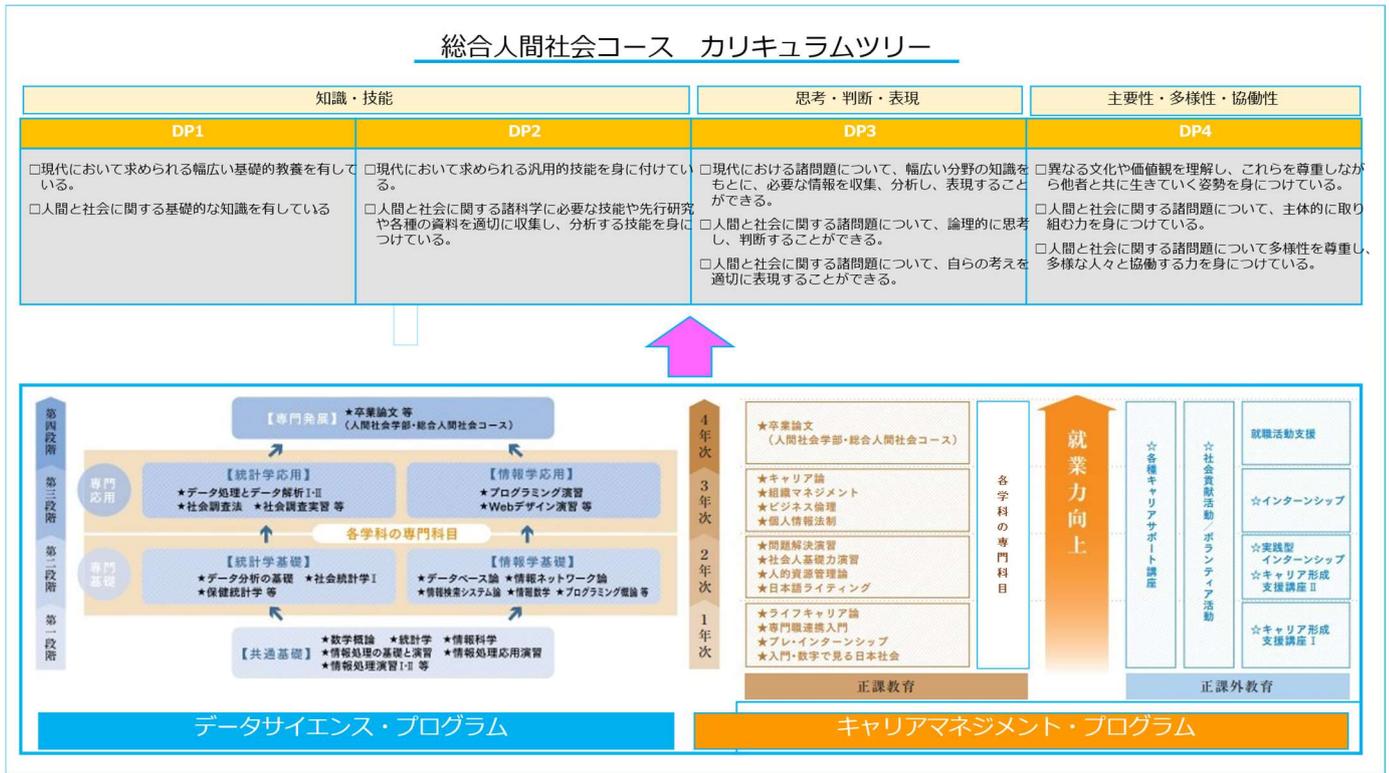


図3 総合人間社会コース 専門科目の成績分布

・カリキュラムツリー



・カリキュラムマップ

総合人間社会コース科目								2023年度										
科目名	単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				担当教員名	DP1		DP2		DP3			DP4		
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
情報数学		2	講義		2			石崎 龍二	○		○		○					
プログラミング概論		2	講義		2			石崎 龍二		○		○		○				
Webデザイン演習		1	演習		1			柴田 雅博	○		○				○			
情報ネットワーク論		2	講義		2			柴田 雅博	○				○					
データベース論		2	講義		2			柴田 雅博	○		○		○					
プログラミング演習		1	演習			1		柴田 雅博	○		○			○			○	
情報検索システム論		2	講義			2		柴田 雅博	○				○					
問題解決演習		1	演習		1			島崎 智史・村上 奈美子			○				○		○	○
人的資源管理論		2	講義		2			井上 奈美子			○		○					
キャリア論		2	講義			2		井上 奈美子				○	○					
組織マネジメント		2	講義			2		井上 奈美子							○		○	
ビジネス倫理		2	講義			2		井上 修						○	○			
個人情報法制		2	講義			2		森脇 敦史		○			○					
情報ネットワーク演習		1	演習		1			柴田 雅博			○		○	○				
マルチメディア論		2	講義		2			柴田 雅博	○		○		○		○			